

令和3年度川越比企保健医療圏難病対策地域協議会議概要

1 開催方法 書面

2 出席者

【委員】山里將瑞委員、吉松栄彦委員、得丸幸夫委員、佐藤光委員、嶋本佳則委員、永井純子委員、長谷部洋子委員、水野未来委員、新井智代委員、秋元圭子委員、羽二塚園子委員、大木英生委員、松本正人委員、入江さゆり委員、佐藤香織委員、筑波優子委員、大井雅之委員、田島信子委員、福島洋次委員、円城寺菜穂子委員、奥泉隆雄委員、木村晴彦委員、丸山浩委員

【事務局】東松山保健所、坂戸保健所、川越市保健所

3 議事内容

- (1) 災害対策に関する考えや、実際の取組状況等について
- (2) ハンドブック「災害時対応ハンドブック」について
- (3) リーフレット「在宅療養されている方へ」について

【意見交換概要】

- (1) 災害対策として、今後どのような対策が必要だと考えるか

①自助について

- ・災害についてのイメージを持つ。
- ・自身について、救助に必要な情報をまとめておく。
- ・災害時必要となる物品の準備。
- ・避難先経路の検討。

②共助について

- ・地域支援者との連携。
- ・関係機関との連携。

③公助について

- ・避難所について、医療ケアのある方の避難先の確保。
- ・発電機の購入補助など。

- (2) 貴施設で実際に行っている災害対策の取組について

①防災、避難訓練。

②対象者について、リスト作成や避難行動要支援者個別計画の作成。

③備品のメンテナンスを含めて確保をしておく。

④マニュアルの作成。